



魅惑の藤の花

4月26日、寺尾中央公園、もみじ公園、笹山緑地を散策中に藤棚の下で休憩していると、藤の花房から甘い香りが漂い、汗をかいた体に心地よく感じました。この時季、市内の公園には、薫風に舞うチョウのような小さな花が集まった花穂が長く垂れる藤棚があります。 【渡貫 トム子】



バラの花が咲きました

5月1日、城山公園の花木園に立ち寄りました。バラは1週間前はずぼみでしたが、この数日で一斉に咲いたのででしょうか。新緑の中でそよ風を満喫しているような爽やかなひとときを過ごしてきました。 【鈴木 歩歩子】



シャクヤクの花

5月7日、寺尾北を散歩中に、シャクヤクの花を見つけました。サラベルという品種の花と一緒に、別のピンク色のシャクヤクも咲いていて、目立つ存在でした。シャクヤクはボタン科の多年草で、ボタンに似た花を咲かせます。花の色はさまざまです。花言葉は「はじらい」「慎ましさ」で、高貴な美しさや豪華さ、エレガントさが魅力の花です。 【篠塚 常夫】



城山公園の花木園を彩る、色とりどりのバラ

5月7日の午後。今にも降りだしそうな花木園の空。城山公園には、70種の美しいバラが咲き競っていました。春を彩る淡いピンク色や黄色、深紅の花びらに魅せられました。夕暮れが近くなると雨も本降りになり、田んぼではアマガエルがコーラスを始めました。綾瀬の豊かな自然に、癒やされたひとときでした。 【秋元 謙治】



朝の訪れを知らせる天使とサルビア・ネモローサ

5月16日、陽だまり公園で、地面から真っすぐに伸びる姿が美しいサルビア・ネモローサが咲いていました。ラッパを吹いている天使の像から朝の訪れを知らされて、シャキッと整列しているような姿がユニークでした。 【深澤 利彰】



綾瀬の里程元標

5月16日、深谷中にある長龍寺で、綾瀬の里程元標(りていげんぴょう)の模造を見つけました。道路元標は大正時代に道路の起点、終点などを示す標示物として設置されたようですが、明治に設置されたものは里程元標と呼ばれているようです。綾瀬誕生100年記念誌には、この里程元標は綾瀬の中央であり「綾瀬市のヘソ」と紹介されていました。 【馬場 正勝】